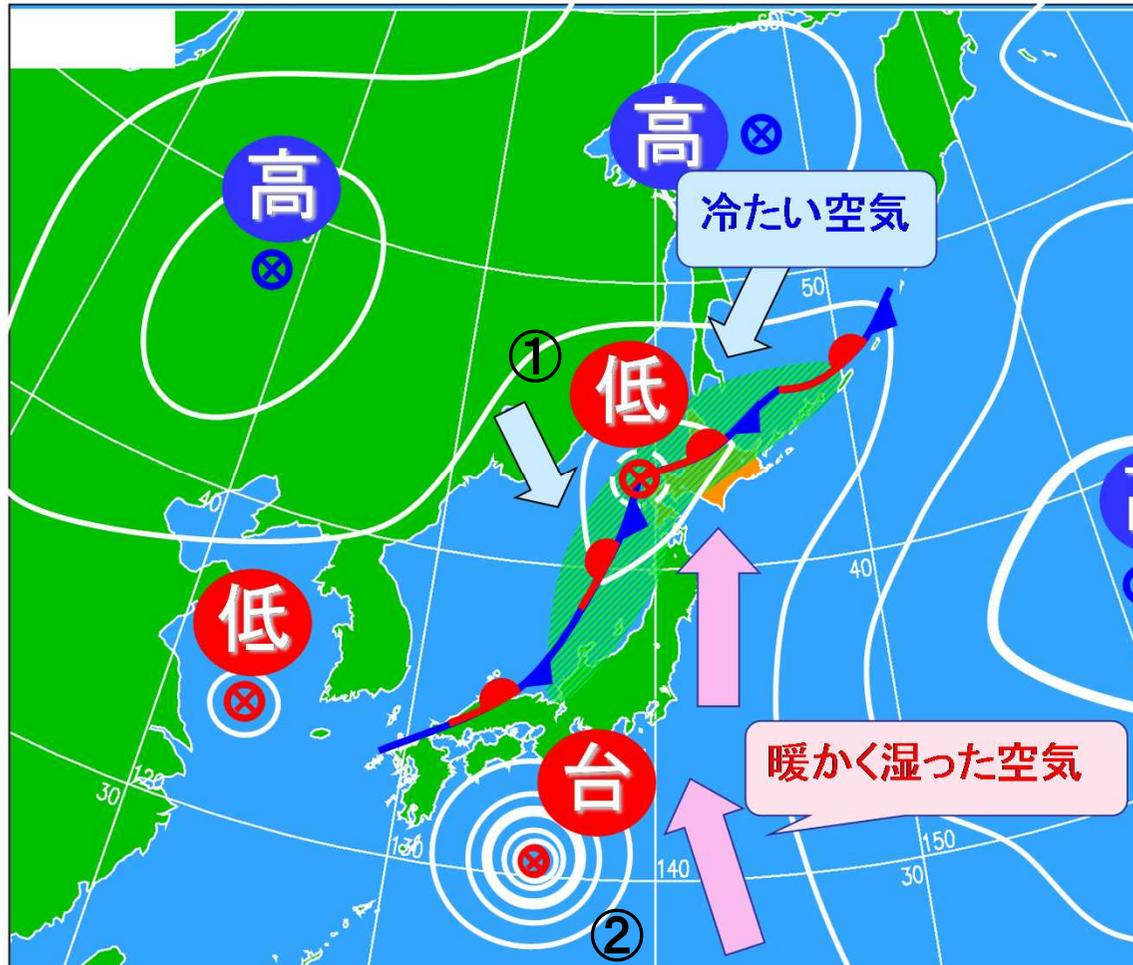


タイムライン検討の進め方

■ 検討対象のハザード(水害)



①北海道に前線や低気圧が停滞し、標茶町付近で局地的な大雨が発生(9月8日)

→標茶町で内水氾濫の発生

②本州周辺に台風が上陸し北海道に接近、釧路川流域の広い範囲で大雨が発生(9月11日)

→釧路川の河川水位が上昇し、堤防が決壊(標茶地区・KP48.8 左岸)

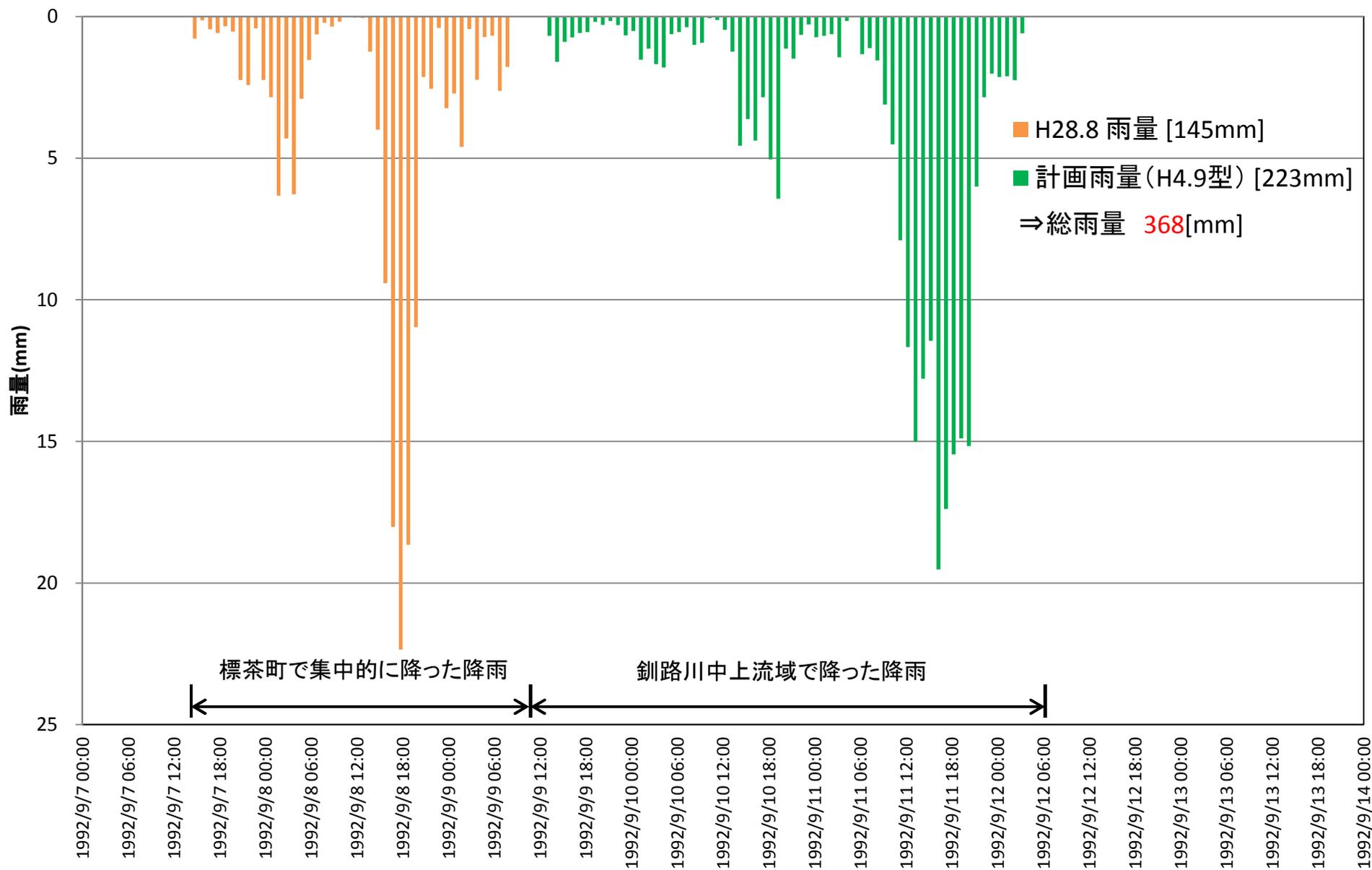
■ 対象ハザード設定の考え方

- ・釧路川標茶地区水害タイムラインの検討にあたっては、流域において**100年に1度発生することが想定される降雨を対象ハザード**として設定します。
- ・また、堤防の決壊前には、市街地内の降雨や**中小河川等の氾濫も想定**されるため、釧路川の**外水氾濫の前に内水氾濫も考慮**した設定とします。

■ 対象ハザードの設定方法

- ①**内水氾濫**は、平成28年8月21日に釧路川流域で発生した**集中豪雨**を対象とします。(このときの降雨が標茶町内で降ったことを想定)
- ②**外水氾濫**は、**想定最大規模の降雨による浸水想定**を対象とします。
- ③**決壊地点**は、**標茶町の市街地が浸水し、決壊による浸水面積が最大となる地点**を対象とします。

H28.8降雨+計画降雨(H4.9型) 合成ハイトグラフ(標茶)



ワークショップの進め方

ワークショップの方法①

付箋紙にH28年8月大雨時の対応をご記入いただきます。

- ・お手元の付箋紙とサインペンをお使いいただきます。
- ・1つの防災行動に対して1枚の付箋紙を使用します。

〇〇班を町内パ
トロールに派遣

被害情報を
メディアに発表

ワークショップの方法①

付箋紙にH28年8月大雨時の対応をご記入いただきます。

- ・ご自身の災害対応時の所属機関や部署、班をご記入し、防災行動を実施していただいたの時間も記入します。

9時ころ ○○町防災班

○○班を町内パ
トロールに派遣

10時ころ △△機関広報班

被害情報を
メディアに発表

ワークショップの方法②

行った防災行動について、課題等を別の付箋紙に記載します。

10時ころ △△機関広報班

被害情報を
メディアに発表

10時ころ △△機関広報班

発表の方法を事前に決めておらず問合せごとに対応となった

ワークショップの方法③

記入した付箋紙を会場前方に掲示した振り返りシートの該当する時間帯に貼り付けます。

- ・課題も併せて貼り付けます。
- ・特定の行動のない課題についてはスタッフにおわしてください。

時間	水位	雨量	発表情報	対応機関					
				開発局	気象台	振興局	標茶町	
10時	20.0m								
11時	20.2m				<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 被害情報を メディアに発表	<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 発表の方法を事前に決めておらず問合せごとに対応となった			
12時	21.0m						<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 被害情報を メディアに発表	<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 発表の方法を事前に決めておらず問合せごとに対応となった	
13時	21.6m								
14時	22.0m			<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 被害情報を メディアに発表	<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 発表の方法を事前に決めておらず問合せごとに対応となった				
15時	22.4m							<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 被害情報を メディアに発表	<small>10時ごろ △△機関広報班</small> 発表の方法を事前に決めておらず問合せごとに対応となった
16時	23.0m								